

機能強化計画の進捗状況 (要約)

(別紙様式 3)

1. 15年 4月～ 9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

「中小企業金融の再生に向けた取組み」については、要注意先債権等の健全債権化に最重点を置き、職員のスキルアップを図るために通信教育の受講を奨励し、外部研修に参加している。10月を能力向上月間と位置付け外部研修、還元研修を集中させているが、それに向けて良いスタートが出来たと考えている。

「金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み」については、今年度から半期開示ディスクロージャー誌を作成することを決定し、準備を進めている。

2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況 (別紙様式 1)

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4月～9月)	備考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
. 中小企業金融の再生に向けた取組み					
1. 創業・新事業支援機能等の強化					
(1) 業種別担当者の配置等融資審査態勢の強化	職員のスキルアップを図るため外部研修、還元研修を実施する。	外部研修への参加。 還元研修の実施。	同左	・15.7県信組協会主催の「融資審査能力養成講座」に職員3名派遣。	
(3) 産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。産学官とのネットワークの構築」への参画	県内で産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。産学官とのネットワークの構築」への参画	業界団体の対応結果を踏まえ、必要があれば検討する。	同左	・業界団体の対応待ちである。	
(4) ベンチャー企業向け業務に係る、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫等との情報共有、協調投融資等連携強化	業界団体が開催する連絡会へ参加し、活用を検討する。	連絡会への参加。	同左	・15.9開催の「業務連携・協力にかかる連絡会」に担当役員が参加。	・業界団体(全国信用協同組合連合会)が「国民生活金融公庫、商工組合中央金庫と業務連携・協力に関する覚書」を締結した。
(5) 中小企業支援センターの活用	・(財)にいがた産業創造機構との情報交換を行う。	情報交換を行い、出来るものであれば活用を検討する。	同左	・15.7県信組協会主催の「創業支援について」の説明会に担当役員が参加。	
2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化					
(1) 経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備	講演会、経営セミナーの開催。 業界セミナーへの参加。 取引先の組織化を検討する。	講演会の開催。 勉強会の実施。 取引先の組織化を検討。 業界セミナーへの参加。 県政施策への参画検討。 各団体との連携、支援活動の検討。	同左	・15.7信栄会夏季特別講演会を実施。(テーマ「戦国武将の人心把握術」) ・15.7三條商工会議所主催のセミナーへの参加。(テーマ「新潟県の経済動向と今後の企業経営」) ・次期経営者勉強会の立ち上げ検討を各店へ要請。	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4月～9月)	備 考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表	改善先へのモニタリングを継続する。 各種研修等へ参加並びに通信教育を受講する。	研修への参加。 通信教育受講。	研修への参加。 通信教育受講。 平成15年度実績(体制、取組み件数、ランクアップ件数)公表。	・15.4県信組協会主催の「要注意先アドバイス講座」に8名派遣し、還元研修を実施。 ・15.9中央協会主催の「企業再生支援講座」に2名派遣。 ・15.7開講の通信教育「実践中小企業経営アドバイスコース」に22名が受講。	
3. 早期事業再生に向けた積極的取組み					
(4) 中小企業再生型信託スキーム等、RCC信託機能の活用	・RCCの中小企業再生型信託スキームの説明会に参加する。	説明会への参加。 活用の検討。	同左		
(6) 中小企業再生支援協議会への協力とその機能の活用	・取引先と相談しながら同協議会へ案件を持ち込むこと等の是非を検討する。	・支援協議会との情報交換を行う。	同左	・15.7県信組協会主催の「中小企業再生支援について」の説明会に担当役員が参加。	
4. 新しい中小企業金融への取組みの強化					
(1) ローンレビューの徹底、財務制限条項やスコアリングモデルの活用等。第三者保証の利用のあり方	・キャッシュフロー等のモニタリング情報によるリスク管理手法、ローンレビュー方法について検討する。	信用格付帳票等の内部研修の実施。 事後管理手法の開発検討。	第三者保証取扱いに対する検討。 同左		
(5) 信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用	信用リスクの定量化による審査手法の検討。	データベースの活用を検討。 デフォルト実績の蓄積。	同左		

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4月～9月)	備 考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
5.顧客への説明態勢の整備、相談 苦情処理機能の強化					
(1)銀行法等に義務付けられた、貸付契約、保証契約の内容等 重要事項に関する債務者への説明態勢の整備	各種契約書(取引約定書・ 保証約定書以外)の整備。 要説明事項に関する説明 の規程作成。	各種契約書(取引約定 書、保証約定書以外)の整 備。 新契約書の説明研修の実 施。	重要事項に関する説明の 規程作成。 重要事項に関する説明の 規程研修の実施。		
(2)「地域金融円滑化会議」の設置・開催	「地域金融円滑化会議」での 意見交換を参考に施策へ の反映に努める。	会議への参加。 取組み策の検討。	同左	・15.6.8開催の「地域金 融円滑化会議」に参加し 会議内容を常務会に報告。	
(3)相談 苦情処理体制の強化	・コンプライアンス担当者会 議を定期的で開催する。 ・「しんくみ苦情相談所」の 顧客周知用リーフレットを店 頭に備置く。 ・ローン相談、年金相談の 実施を継続する。	・四半期毎のコンプライア ンス担当者会議の開催。 ・第二土曜日にローン相 談、年金相談の実施。	同左	・15.4.7開催のコンプラ イアンス担当者会議で部店 内研修の実施状況、苦情 処理等について報告意見 交換を行った。 ・15.7「しんくみ苦情相談 所」のリーフレットを店頭 に備え置く。 ・「ローン・年金相談」を毎月 第二土曜日(午前9時～12 時)実施している。	
6.進捗状況の公表	・進捗状況について半期毎 に公表する。 ・ディスクロージャー誌に概 要を掲載するとともに、ホー ムページなどに機能強化計 画を掲載する。	・別紙様式3の要約書を9 月末までにリーフレット ホームページにて公表す る。	・ディスクロージャー誌(半期 開示用のミニディスクロ誌を 含む)に概要を掲載。 ・ホームページに掲載。	・15.9「リレーションシップ バンキングの機能強化計 画」をホームページとリーフ レットの店頭備え置きにより 公表している。 ・15.11下旬に公表予定 の半期開示用ミニディス クロージャー誌にも進捗状況 を公表するよう準備を進め ている。	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4月～9月)	備 考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み					
1. 資産査定、信用リスク管理の強化					
(1) 適切な自己査定及び償却・引当の実施	・自己査定内部研修の実施。	・不動産担保評価、稟議書研修。 ・自己査定研修。 ・信用格付、財務分析研修。	自己査定研修	・15.5 不動産担保評価、稟議書研修」に22名が参加。 ・15.8 信用格付、財務分析研修」に21名が参加。	
(1) 担保評価方法の合理性、処分実績からみた評価精度に係る厳正な検証	担保評価の妥当性について、検証を行う 担保処分実績について情報を蓄積する。	・12月末までに不動産担保評価の見直し、検証を行う ・不動産担保物件売却実績一覧表を作成する。	同左	担保物件売却状況について調査中である。	
(1) 金融再生法開示債権の保全状況の開示	全信中協が示した開示例を基に平成15年3月期のディスクロージャー誌から掲載。また、9月期においてもミニディスクロ誌に掲載する。	ディスクロージャー誌(半期開示用ミニディスクロージャー誌を含む)に掲載する。	同左	・15.9半期開示自己査定要領を策定。 半期開示用ミニディスクロージャー誌を作成し、15.11下旬に店頭備え置きする予定で準備を進めている。	
2. 収益管理態勢の整備と収益力の向上					
(2) 信用リスクデータの蓄積、債務者区分と総合的な内部格付制度の構築、金利設定のための内部基準の整備等	信用リスクデータの蓄積を図る。 ・SKC信用格付システムから10段階による格付を金利設定に関連できるかを検討する。	格付データ研修会の実施。 ・デフォルト実績の蓄積を図る。 ・金利動向等の情報収集を図る。	デフォルト実績の蓄積からデータベースの整備を図る。 他は、前年度と同じ。		
3. ガバナンスの強化					
(2) 半期開示の実施	・全信中協からの「信用組合の情報開示に関する今後の対応について」を踏まえ、内容、構成について検討を行う ・開示項目は上記文書の開示項目例の他、仮決算時の貸借対照表、損益計算書等についても開示対象とすることを検討する。	・半期開示用ミニディスクロージャー誌作成。	同左	・半期開示用ミニディスクロージャー誌を作成し、15.11下旬に店頭備え置きする予定で準備を進めている。 ・開示項目は金融再生法ベースの債権区分による開示、地域貢献活動等、全信中協提供の開示項目の他、貸借対照表、損益計算書についても開示する。	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4月～9月)	備 考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
(2) 外部監査の実施対象の拡大等	「全国信用組合監査機構」による監査を受けることを検討する。	「全国信用組合監査機構」による監査を申し込む。	「全国信用組合監査機構」による監査を実施。	平成15年度決算について監査を受けるべく全信組連に打診をしている。	
(2) 総代の選考基準や選考手続きの透明化、会員 組合員の意見を反映させる仕組み等の整備	全信中協の検討結果を踏まえて、検討を行い、総代会の機能強化および組合員の意見を反映する仕組みを整備する。	規程等改正の検討。	規程等改正の検討。	全信中協の検討を待っている。	
(2) 中央機関が充実を図る個別金融機関に対する経営モニタリング機能等の活用方針	経営分析資料を有効に活用する。 ・全信中協の相談窓口を積極的に活用する。 ・全国信用組合監査機構」による監査を受けることを検討する。	・14年度決算経営分析資料の検討。	・15年度決算経営分析資料の検討。 ・全国信用組合監査機構」による監査を実施。	・15.9に全信組連から平成14年度の決算書等に基づく「経営分析資料」の提供を受け内容説明を受ける。 ・15.10に開催する部店長会議で「経営分析資料」を説明する予定である。	
4.地域貢献に関する情報開示等					
(1) 地域貢献に関する情報開示	平成15年3月期決算にかかる地域貢献に関するディスクロージャーについては、平成15年11月頃を目途にパンフレット等に掲載する。また、平成16年3月期以降については、ディスクロージャー誌に掲載する。	平成15年3月期決算の地域貢献に関するディスクロージャーを半期開示のディスクロージャー誌とは別のパンフレット等で、11月に開示。	平成16年3月期決算の地域貢献に関するディスクロージャーをディスクロージャー誌に盛り込んで開示。	・15.3期決算の地域貢献に関するディスクロージャーを半期開示のディスクロージャー誌とは別のパンフレット等で11月に開示する予定で準備を進めている。	

3.その他関連する取組み (別紙様式2)

項 目	具体的な取組み	進捗状況 (15年4月～9月)
<p>1.(2)企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的とした研修の実施</p>	<p>当組合にとって喫緊の課題は不良債権を減少させることであることから、当面、中小企業支援と企業再生支援のための人材育成に重点を置く。 新潟県信用組合協会において開催する「融資審査能力養成講座」へ職員を派遣する。</p>	<p>・15.7開催の「融資審査能力養成講座」に職員3名を派遣。</p>
<p>2.(4)中小企業支援スキルの向上を目的とした研修の実施</p>	<p>次の通信教育の受講を推奨する。 実践中小企業経営支援アドバイスコース(経済法令研究会) 中小企業経営改善プログラム講座(きんざい) 新潟県信用組合協会において開催する「要注意先企業アドバイス講座」へ職員を派遣する。(融資担当者中心) 新潟県信用組合協会において開催する「企業支援・ランクアップ講座」へ職員を派遣する。(店長中心) 「企業支援・ランクアップ講座」への派遣者を講師として内部研修を実施する。</p>	<p>・15.7開講の通信教育「実践中小企業経営支援アドバイスコース」を22名が受講。 ・15.10開講の通信教育「中小企業経営改善プログラム講座」を12名が受講予定。 ・15.4に開催の「要注意先企業アドバイス講座」に職員8名を派遣。 ・15.10に開催する「企業支援・ランクアップ講座」に店長4名を派遣し、10月に融資・渉外担当職員に対して還元研修を実施する予定。</p>
<p>3.(7)企業再生支援に関する人材(ターンアラウンド・スペシャリスト)の育成を目的とした研修の実施</p>	<p>次の通信教育の受講を推奨する。 事業再生コース(きんざい) 全信中協において開催する「企業再生支援講座」へ職員を派遣する。 ・「企業再生支援講座」への派遣者を講師として内部研修を実施する。</p>	<p>・15.10に開講する通信教育「事業再生コース」を6名が受講する予定。 ・15.9に開催の「企業再生支援講座」に店長2名を派遣。 ・「企業再生支援講座」を受講する店長が講師となって、15.10に店長、融資担当者、渉外チーフを対象に還元研修を実施する予定。</p>

当組合が対応する個別項目のみ掲載しているため、項目番号は連続しておりません。